　　２０２５年６月５日

日本ばね学会会員各位

日本ばね学会

『組織変態を伴わない温度領域』における物性の変化

-- へたらないばねを検討するための第一歩 ―

ご案内と参加者募集

拝啓

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

当会の勉強会はこれまで、１．「線ばねの精度向上に影響する因子の勉強会」（全5回）、２．「低温焼鈍によるワイヤとコイルばねの寸法変化」（全5回）、３．「ばね材料の鉄鋼製造プロセスに関する勉強会」（全4回）を実施いたしました。今回、新規に勉強会を立ち上げるにことになり、「『組織変態を伴わない温度領域』における物性の変化」について、取り上げたいと考えております。これまで系統的にまとめて、取り上げられてこなかった領域でもあり、参加者の疑問に応えながら、参加者自らの学びにつながるように、進めてまいりたいと思います。

具体的には、室温から450℃程度の温度範囲の現象を対象とし、基本的な金属組織的なベーシックな話から、具体的にばね製造工程に関わる「時効」「低温焼なまし（テンパー）」が「へたり」などの現象に及ぼすメカニズムをご紹介する予定です。さらに、最新の研究である「永久強度の考え方」についてもご講演を通じて理解を深めたいと考えております。

参加者相互の交流機会も加え、日ごろ気になっている事象が「どのくらいの温度で、どのくらいの時間オーダーの現象なのか？」 知りたいことをグループディスカッションしていただくことから、学びのきかっけにしていただければと思います。実務経験を踏まえ、それぞれの事象に関し、問題意識をお持ちの皆様の参加をお待ちしております。

　　　　　　　　　　　敬具

記

1. 講演内容と講師
2. 第１回「キックオフ」
   1. 勉強会立ち上げ経緯とGOAL・・日鉄ＳＧワイヤ㈱　川名
   2. ワイヤ製造工程を温度、時間の観点から紹介・・日本製鉄㈱ 山先課長、日鉄ＳＧワイヤ㈱ 川名
   3. ばね製造工程を温度、時間の観点から紹介・・日本発条㈱　神谷主任
3. 第２回グループワーク
   1. 知りたい事象の温度時間マップの作成、グループ間での事例紹介・・・参加者全員
   2. 講師コメントと今回の勉強会検討領域の選定
4. 第３回、第４回「結晶、元素、転位とは」・・・法政大学　小泉教授
5. 第５回「ばね製造工程の冶金学」・・・日鉄ＳＧワイヤ㈱ＯＢ　林様
6. 第６回「永久強度に関する紹介」・・・法政大学　小泉教授

２．講演時間と開催日時

　　（１）講演時間：１回あたり２時間を予定しております。

　　（２）講演日時：第１回・第２回　8月29日（金）13-17、

第３回・第４回　９月12日（金）13-17

第5回　11月（期日調整中、追って詳細ご連絡します）

　　　　　　　　　　第６回　2026年1〜3月を予定（追って詳細ご連絡します）

（３）場所：東京または横浜　決まり次第ご連絡いたします。

３．参加費用　全６回　５，０００円（参加申込者に請求書をお送りします）

４．申し込み　参加希望の方は２０２５年７月２５日（金）までに、メールにて、

①会社、②所属、③氏名、④メールアドレス、⑤電話番号（当日連絡のつく番号）　を記載の上

日本ばね学会事務局宛 [jsse@spring.or.jp](mailto:jsse@spring.or.jp)お申込みください。

以上